

仙台市子ども・子育て支援事業計画 掲載事業等の令和2年度実績について

令和3年11月5日

【目 次】

1. 仙台市子ども・子育て支援事業計画について	1
2. 対象児童数の推計と実績について	2
3. 教育・保育の推計と実績について	3
4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について	4～

1. 仙台市子ども・子育て支援事業計画について

○子ども・子育て支援事業計画とは

- ・子ども・子育て支援法において、市町村は、国が示す基本指針に即して、5年を1期とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」を策定することとされており、計画の中では、「教育・保育」及び「地域子ども・子育て支援事業」の「量の見込み」を推計し、具体的な供給体制の確保（「確保方策」）を記載することが義務付けられている。
- ・本市においては、令和2年3月に「仙台市すこやか子育てプラン2020」に包含する形で策定。

○分類および「量の見込み」算出の考え方

分類	施設・事業名		「量の見込み」算出の考え方
教育・保育	教育・保育施設	幼稚園、保育所、認定こども園	<div>対象児童数 (人口推計を基に算出)</div> <div>×</div> <div>利用意向率 (アンケート調査※等を基に算出)</div>
	地域型保育事業	家庭的保育、小規模保育、居宅訪問型保育、事業所内保育	
地域子ども・子育て支援事業	①利用者支援事業 ②時間外保育事業 ③放課後児童健全育成事業 ④乳児家庭全戸訪問事業 ⑤養育支援訪問事業 ⑥地域子育て拠点支援事業 ⑦一時預かり事業 ⑧病児保育事業 ⑨妊婦健康診査事業 ⑩子育て短期支援事業 ⑪子育て援助活動支援事業		<div> <div>対象児童数 (人口推計を基に算出)</div> <div>×</div> <div>利用意向率 (アンケート調査※等を基に算出)</div> <div>×</div> <div>利用回数 (アンケート調査※等を基に算出)</div> </div> <p>※アンケート調査…本市で平成30年度に、就学前児童の保護者9,000人および小学生の保護者7,200人を対象として実施した「子ども・子育てに関するアンケート調査」</p>

【対象児童数(人口推計)】

仙台市の年齢別人口、自然増減、社会増減の実績データ等を勘案し、コーホート要因法により推計。

※コーホート要因法：各コーホート(各年齢別・男女別の集団)の人口を、自然増減(出生および死亡)および社会増減(転出入)に分けて推計する方法。

【教育・保育】の量の見込み

アンケート調査(就学前児童)を基に、今後の就労意向や各施設・事業の利用希望を反映した「利用意向率」を算出。

「対象児童数」×「利用意向率」により、認定区分(1号・2号・3号)ごとの量の見込みを算出し、仙台市全体の「教育・保育」の量の見込みを算出。

【地域子ども・子育て支援事業】の量の見込み

- ・アンケート調査(就学前児童、小学生)を基に、今後の就労意向や各施設・事業の利用希望を反映した「利用意向率」を算出。
- ・「利用意向率」の他に、「利用意向回数(回数)」を量の見込みに反映する事業については、現在の利用状況を踏まえる観点から、「利用意向回数(回数)」を、直近の実績を考慮したものとした。
- ・「対象児童数」×「利用意向率」、または、「対象児童数」×「利用意向率」×「利用意向回数(回数)」により、仙台市全体の各事業の量の見込みを算出。

2. 対象児童数の推計と実績について

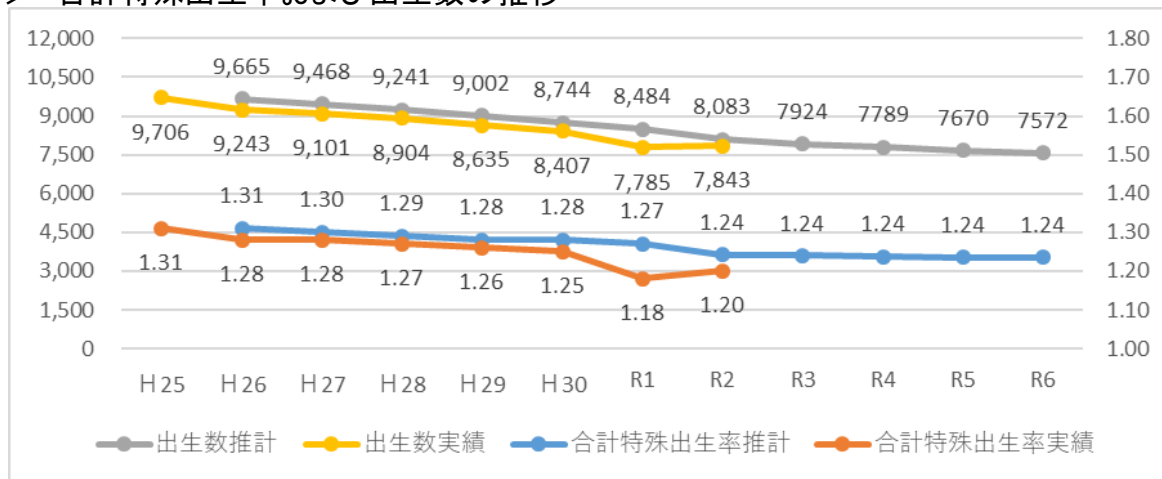
○対象児童数の推計と実績

単位：人

		年齢	R2年度 当初	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初	R8年度 当初
就 学 前 児 童	①推計	0歳		7,952	7,799	7,645	7,515	7,400	7,305
		1・2歳計		16,534	16,160	15,945	15,634	15,347	15,099
		3～5歳計		26,375	25,751	24,773	24,198	23,677	23,312
		就学前児童計		50,861	49,710	48,363	47,347	46,424	45,716
	②実績	0歳	7,695	7,459	※推計値に対する実績値の比率 0歳児 … 93.8% 1・2歳児 … 96.2% 3～5歳児 … 98.6% 計 … 97.1%				
		1・2歳計	16,532	15,908					
		3～5歳計	26,419	26,002					
		就学前児童計	50,646	49,369					
		年齢	R2年度 当初	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初	R8年度 当初
小 学 生	①推計	小学1～3年生		26,802	26,812	26,583	26,103	25,487	24,518
		小学4～6年生		27,283	26,826	26,880	26,712	26,722	26,495
		小学生計		54,085	53,638	53,463	52,815	52,209	51,013
	②実績	小学1～3年生	26,789	26,878	※推計値に対する実績値の比率 小学1～3年生 … 100.3% 小学4～6年生 … 98.3% 計 … 99.3%				
		小学4～6年生	27,257	26,820					
		小学生計	54,046	53,698					

- ・ 令和3年4月1日時点の就学前児童数は、推計比97.1%と、推計を下回った。
- ・ 特に、0歳児人口の推計比が93.8%と低かったことが大きな要因と考えられる。
- ・ 一方、小学生人数は推計比99.3%であった。

<参考> 合計特殊出生率および出生数の推移



3. 教育・保育の推計と実績について

○計画と実績

単位：人

年度		R2年度当初(参考)					R3年度当初					
		1号	2号		3号	合計	1号	2号		3号	合計	
			教育希望 強い	それ以外				教育希望 強い	それ以外			
計 画	(A) 量の見込み						9,781	15,236		10,835	35,852	
	(B) 確保方策						13,664		11,353			
	内 訳	教育・保育施設					4,937		11,556	8,005	24,498	
		確認を受けない幼稚園					12,415		0	0	12,415	
		地域型保育事業					0		0	2,419	2,419	
		企業主導型保育事業					0		36	608	644	
	(B)－(A)						3,688		239	197	4,124	
実 績	(C) 需要実績		14,065		11,391	10,138	35,594	12,618		11,714	10,109	34,441
	内 訳	支給認定児童数 (入所保留児童含む)	3,316	/	11,391	10,138	24,845	3,358	/	11,714	10,109	25,181
		確認を受けない 幼稚園入所児童数	10,749		/	/	10,749	9,260		/	/	9,260
	(D) 供給可能量		14,429		11,297	10,519	36,245	13,302		11,589	10,654	35,545
	内 訳	教育・保育施設	3,680	/	11,261	7,812	22,753	4,042	/	11,500	7,813	23,355
		確認を受けない幼稚園	10,749		/	/	10,749	9,260		/	/	9,260
		地域型保育事業			2,076	2,076			2,223	2,223		
		企業主導型保育事業									36	
(D)－(C)		364		▲ 94	381	651	684		▲ 125	545	1,104	
参 考	需要見込みと需要実績の差 (C)－(A)						▲ 1,046		361	▲ 726	▲ 1,411	
	供給見込みと供給実績の差 (D)－(B)						▲ 4,050		▲ 3	▲ 378	▲ 4,431	

※(B)確保方策の内訳について

- 教育・保育施設 …… 新制度幼稚園, 保育所, 認定こども園
- 確認を受けない幼稚園 …… 従来制度幼稚園
- 地域型保育事業 …… 家庭的保育, 小規模保育, 居宅訪問型保育, 事業所内保育
- 企業主導型保育事業 …… 企業主導型保育事業のうち地域枠

※(C)需要実績の考え方

- 1号 …… 支給認定児童数 + 確認を受けない幼稚園の入所児童数
- 2号 …… 支給認定児童数
- 3号 …… 支給認定児童数

- ・確保方策(D 供給可能量)については、事業者選定後の辞退や事業の遅れ等が生じたため、計画した整備数(B 確保方策)には至らなかったが、需要実績(C)と比較すると、全体(1号～3号の計)で千人分以上、上回っている。しかしながら、保育需要の地域偏在等から、R3年度当初に44人の待機児童が生じた。
- ・2号認定(それ以外)については、需要が供給を上回っている(▲125)が、全体調整の中で対応できた部分もあり、待機児童となったのは、このうちの7人であった。
- ・3号認定は、供給が需要を上回った(+545)が、保育需要の地域的偏在等から37人が待機児童となった。

※年度当初に生じた44人の待機児童については、入所調整の継続により、10月時点で、そのうち31人が保育所に入所できている。

<参考> 計画(翌年度以降)

年度		R4年度当初					R5年度当初					
		1号	2号		3号	合計	1号	2号		3号	合計	
			教育希望 強い	それ以外				教育希望 強い	それ以外			
計 画	(A) 量の見込み	9,056	15,199		11,218	35,473	8,506	15,368		11,537	35,411	
		12,939		11,316			12,436		11,438			
	(B) 確保方策	17,352		11,720	11,372	40,444	17,352		11,784	11,540	40,676	
	内 訳	教育・保育施設	4,937		11,684	8,117	24,738	4,937		11,748	8,173	24,858
		確認を受けない幼稚園	12,415		0	0	12,415	12,415		0	0	12,415
		地域型保育事業	0		0	2,647	2,647	0		0	2,759	2,759
		企業主導型保育事業	0		36	608	644	0		36	608	644
	(B)－(A)		4,413		404	154	4,971	4,916		346	3	5,265

年度		R6年度当初				R7年度当初					
		1号	2号		3号	合計	1号	2号		3号	合計
			教育希望 強い	それ以外				教育希望 強い	それ以外		
計 画	(A) 量の見込み	8,324	15,037		11,333	34,694	8,195	14,806		11,158	34,159
		12,169		11,192			11,981		11,020		
	(B) 確保方策	17,352		11,784	11,540	40,676	17,352		11,784	11,540	40,676
		内 訳	教育・保育施設	4,937	11,748	8,173	24,858	4,937	11,748	8,173	24,858
			確認を受けない幼稚園	12,415	0	0	12,415	12,415	0	0	12,415
			地域型保育事業	0	0	2,759	2,759	0	0	2,759	2,759
			企業主導型保育事業	0	36	608	644	0	36	608	644
	(B)－(A)		5,183	592	207	5,982	5,371	764	382	6,517	

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

①利用者支援事業(区域:行政区)

事業内容	子どもや保護者の身近な場所で、子ども・子育てに関するきめ細かな情報提供等を行い、また、関係機関等との連絡調整等を図りながら、多様化する保育ニーズや子育てに対する不安・負担に対応するための相談支援等を実施する事業。
実施状況	各のびすく(5か所)にのびすく子育てコーディネーター(基本型)を、各区・宮城総合支所に保育サービス相談員(特定型)を、各区・各総合支所に母子保健コーディネーター(母子保健型)を配置。
実施主体	のびすく(5か所)、各区保健福祉センター(特定型5か所、母子保健型5か所)・各総合支所(特定型1か所、母子保健型2か所)

○計画と実績

単位: か所数

年度(当初)		R2年度 当初(参考)	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初
事業 計画	量の見込み		18か所	18か所	18か所	18か所	18か所
	確保方策		18か所	18か所	18か所	18か所	18か所
実績	確保実績	18か所	18か所				
	(内訳の参考値)						
	のびすく子育て コーディネーター 利用者数	1,462人日	2,140人日				
	保育サービス 相談員 利用者数	10,049人日	9,642人日				
	母子保健 コーディネーター 利用者数	※母子保健コーディネーターは、利用者支援事業以外の相談も複合的に受けており、本事業のみの利用者数を抜き出すことができない					

○のびすく子育てコーディネーター

- ・平成29年度に開始した事業であり、継続的に実施する中で、相談件数は増加傾向にある。
- ・コロナ禍により人との繋がりが希薄になる中、乳幼児親子の交流の場や相談のニーズは高まっており、のびすくのひろば利用に併せて相談される方も多かった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、のびすくを臨時休館とした期間も電話相談を継続した。

○保育サービス相談員

- ・来庁による相談件数が減少しているものの、保護者のニーズに対する相談支援や保育に関する個別の状況に応じた情報提供を実施した。
- ・出張相談業務については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、訪問件数が著しく減少した。

○母子保健コーディネーター

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、来庁による相談件数が減少しているものの、保護者のニーズに対する相談支援や、子ども・子育てに関する個別の状況に応じた情報提供を実施した。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

②時間外保育事業（区域：行政区）

事業内容	保育認定を受けた子どもについて、通常の利用日及び利用時間以外の日及び時間において、保育所等で引き続き保育を実施する事業。
実施状況	保育所、認定こども園、地域型保育事業にて延長保育として実施。
実施主体	保育所、認定こども園、地域型保育事業

○計画と実績

単位：人

年度(当初)		R2年度 当初(参考)	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初
事業 計画	量の見込み		5,817人	5,908人	6,023人	5,905人	5,814人
	確保方策		5,817人	5,908人	6,023人	5,905人	5,814人
実績	利用者数	5,688人	6,466人				
	供給可能量 (確保実績)	5,688人	6,466人				
	(参考) 実施か所数	259か所	268か所				
	(内訳)						
	保育所	157か所	153か所				
	小規模保育	82か所	82か所				
	認定こども園	20か所	33か所				

- ・保育所については、認定こども園への移行により、実施か所数が減少した一方、認定こども園では実施か所数が13か所増加した。
- ・利用実績は、時間外保育への需要の高まりから増加傾向にある。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

③放課後児童健全育成事業（区域：行政区）

事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生を対象に、放課後等の遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図る事業。
実施状況	市内の児童館・児童センター、サテライト室において児童クラブを実施。その他、民間事業者の運営する児童クラブもある。
実施主体	児童館（児童センター）、民間事業者

○計画と実績

単位：人

年度(当初)			R2年度当初(参考)	R3年度当初	R4年度当初	R5年度当初	R6年度当初	R7年度当初
事業計画	量の見込み	1年生		4,599人	4,693人	4,477人	4,367人	4,228人
		2年生		4,111人	4,127人	4,188人	4,008人	3,897人
		3年生		3,267人	3,253人	3,260人	3,305人	3,154人
		4年生		1,806人	1,879人	1,855人	1,874人	1,875人
		5年生		704人	700人	712人	712人	712人
		6年生		218人	227人	222人	224人	231人
		合計		14,705人	14,879人	14,714人	14,490人	14,097人
	確保方策			14,705人 A	14,879人	14,714人	14,490人	14,097人
実績	申込者数	1年生	11,392人	4,362人				
		2年生		4,003人				
		3年生		3,073人				
		4年生	2,766人	1,728人				
		5年生		705人				
		6年生		306人				
		合計	14,158人	14,177人 B				
	利用者数	1年生	11,376人	4,360人				
		2年生		4,003人				
		3年生		3,073人				
		4年生	2,760人	1,727人				
		5年生		702人				
		6年生		306人				
		合計	14,136人	14,171人 C				
	供給可能量 (確保実績)	児童館児童クラブ	15,660人	15,604人				
		民間児童クラブ	1,038人	1,078人				
		合計	16,698人	16,682人 D				
	(参考) 実施か所数		児童館児童クラブ：207か所 (うちサテライト94箇所) 民間事業者：32か所	児童館児童クラブ：208か所 (うちサテライト96箇所) 民間事業者：34か所				

※需要の見込みに対する、実際の申し込み割合
合計・・・B ÷ A = 96.4%

※希望したが利用できなかった「待機児童」数
小学1年生が、2人
小学4年生が、1人
小学5年生が、3人
・・・B - C = 6人

※申し込み者数に対する、供給可能量
合計・・・D ÷ B = 117.7%

- ・R3年度当初の利用人数は前年度比で35人の増加となり、近年の増加状況と比べると微増であった。新型コロナウイルス感染症の影響による保護者の就労状況の変化などが要因として考えられる。
- ・数字上、十分な供給可能量を確保しているが、実際には需要の地域的偏在等の要因により、R3年度当初は、6人の待機児童が生じた。その後、10月の時点で解消している。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

④乳児家庭全戸訪問事業(区域:行政区)

事業内容	生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う事業。
実施状況	新生児訪問として、乳児のいるすべての家庭を対象として実施。
実施主体	保健所(各区保健福祉センター、保健センター)

○計画と実績

単位:延べ人数(人日)

年度(当初)			R2年度当初(参考)	R3年度当初	R4年度当初	R5年度当初	R6年度当初	R7年度当初
事業計画	量の見込み			8,479人日	8,334人日	8,207人日	8,102人日	8,016人日
	確保方策			・訪問指導員数: 58人 ・実施機関: 保健福祉センター	・訪問指導員数: 58人 ・実施機関: 保健福祉センター	・訪問指導員数: 58人 ・実施機関: 保健福祉センター	・訪問指導員数: 58人 ・実施機関: 保健福祉センター	・訪問指導員数: 58人 ・実施機関: 保健福祉センター
実績	延べ利用者数		8,243人日	8,381人日				
	確保実績	実施機関	・訪問指導員数: 57人 ・実施機関: 保健福祉センター	・訪問指導員数: 57人 ・実施機関: 保健福祉センター				
		供給可能量	8,243人日	8,381人日				
	(参考) 実利用者数		7,703人	7,738人				

- ・利用者数は、前年度比で延べ人数・実人数ともに増加した。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、里帰りができないなどにより、不安を抱えて育児をしている産婦も多く、継続支援が必要と判断した家庭への再訪問の増加等により、訪問実績が増加している。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

⑤養育支援訪問事業(区域:行政区)

事業内容	<p>○育児・家事等の援助 産後間もない、育児不安や孤立を感じやすい時期の養育支援として、育児ヘルパーを派遣し、育児や家事の援助を行う事業。</p> <p>○専門的な相談指導 未熟児や多胎児等に関する育児指導や養育者の身体的・精神的不調に対する相談・指導、若年の養育者に対する育児相談・指導等を行う事業。</p>
実施状況	育児ヘルプ家庭訪問事業として実施。
実施主体	各区保健福祉センター(「育児・家事等の援助」は民間事業者への委託)

○計画と実績

<育児・家事等の援助(育児ヘルパー派遣)>

単位:延べ人数(人日)

年度(当初)			R2年度当初(参考)	R3年度当初	R4年度当初	R5年度当初	R6年度当初	R7年度当初
事業計画	量の見込み			1,629人日	1,601人日	1,577人日	1,556人日	1,540人日
	確保方策			育児ヘルパー: 477人 実施機関: 16か所	育児ヘルパー: 477人 実施機関: 16か所	育児ヘルパー: 477人 実施機関: 16か所	育児ヘルパー: 477人 実施機関: 16か所	育児ヘルパー: 477人 実施機関: 16か所
実績	延べ利用者数		2,118人日	1,970人日				
	確保実績	実施機関	育児ヘルパー: 477人 実施機関: 12か所	育児ヘルパー: 473人 実施機関: 14か所				
		提供可能量	2,118人日	1,970人日				
	(参考) 実利用者数		344人	266人				

<専門的な相談指導(専門指導員の訪問)>

単位:延べ人数(人日)

年度(当初)			R2年度当初(参考)	R3年度当初	R4年度当初	R5年度当初	R6年度当初	R7年度当初
事業計画	量の見込み			1,325人日	1,302人日	1,283人日	1,266人日	1,253人日
	確保方策			専門指導員: 50人 実施機関: 保健福祉センター	専門指導員: 50人 実施機関: 保健福祉センター	専門指導員: 50人 実施機関: 保健福祉センター	専門指導員: 50人 実施機関: 保健福祉センター	専門指導員: 50人 実施機関: 保健福祉センター
実績	延べ利用者数		1,500人日	1,460人日				
	確保実績	実施機関	専門指導員: 51人 実施機関: 保健福祉センター	専門指導員: 48人 実施機関: 保健福祉センター				
		供給可能量	1,500人日	1,460人日				
	(参考) 実利用者数		334人	376人				

・育児ヘルパー派遣、専門指導員の訪問事業ともに、新型コロナウイルス感染症への感染不安から、一時的に利用を差し控えるケースが見られ、実績は減少した。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

⑥地域子育て支援拠点事業(区域:行政区)

事業内容	家庭や地域における子育て機能の低下や、子育て中の親の孤独感や負担感の増大等に対応するため、地域の子育て中の親子の交流促進や育児相談等を行う事業。
実施状況	のびすく(仙台、宮城野、若林、長町南、泉中央)にて実施のほか、保育所・幼稚園・児童館でも同様に子育て支援事業を実施。
実施主体	のびすく、保育所、幼稚園、児童館(児童センター)

○計画と実績

単位: 延べ人数(人日)

年度(当初)			R2年度当初(参考)	R3年度当初	R4年度当初	R5年度当初	R6年度当初	R7年度当初
事業計画	量の見込み			577,855人日	562,399人日	548,429人日	538,976人日	531,051人日
	確保方策			237か所	237か所	237か所	237か所	237か所
	(内訳)	のびすく 保育所 幼稚園 児童館		5か所	5か所	5か所	5か所	5か所
				29か所	29か所	29か所	29か所	29か所
				90か所	90か所	90か所	90か所	90か所
				113か所	113か所	113か所	113か所	113か所
実績	延べ利用者数		510,734人日	245,381人日				
	(内訳)	のびすく 保育所 幼稚園 児童館	169,387人日	47,585人日				
			113,836人日	72,986人日				
			68,722人日	47,011人日				
			158,789人日	77,799人日				
	実施か所数		231か所	223か所				
	(内訳)	のびすく 保育所 幼稚園 児童館	5か所	5か所				
			29か所	29か所				
			85か所	76か所				
			112か所	113か所				
	供給可能量 (確保実績)		510,734人日	245,381人日				
	(内訳)	のびすく 保育所 幼稚園 児童館	169,387人日	47,585人日				
			113,836人日	72,986人日				
			68,722人日	47,011人日				
			158,789人日	77,799人日				

○のびすく

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、臨時休館した期間があったほか、密状態を避けるため、利用人数に制限を設けるなど事業規模を縮小して運営したことにより、利用者数が大幅に減少した。
- ・感染症対策を徹底しながら、乳幼児親子の交流の場を提供するとともに、相談業務や情報提供など様々な面から子育て支援を行ったが、人数制限を設けたことで、利用ニーズに応えられない部分もあった。

○保育所・幼稚園等

- ・保育所・幼稚園等においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、支援室等の開放を一定期間休止したほか、利用人数の制限を設けたことなどから、利用者数が減少した。

○児童館

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、児童クラブ受入れ時間帯の密状態を避けるため、5月まで受入れを休止し、その後も限定的な実施としたことから利用者が減少した。
- ・再開にあたっては、感染症拡大防止に努めながら、時間帯や人数を限定し、受け入れを行った。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

⑦一時預かり事業（幼稚園在園児を対象）（区域：行政区）

事業内容	通常の幼稚園教育時間の開始前や終了後、夏休みなどの幼稚園休業日に園児を預かる事業。
実施状況	仙台市内のすべての私立幼稚園及び認定こども園で預かり保育として実施。
実施主体	幼稚園、認定こども園

○計画と実績

単位：延べ人数（人日）

年度（当初）			R2年度 当初（参考）	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初
事業計画	量の見込み	①1号認定による利用		457,382人日	450,578人日	443,621人日	434,096人日	427,390人日
		②2号認定による利用		181,571人日	193,183人日	204,948人日	200,548人日	197,450人日
		合計		638,953人日	643,761人日	648,569人日	634,644人日	624,840人日
	確保方策	一時預かり事業（幼稚園Ⅰ型）		45,075人日	45,414人日	45,754人日	44,771人日	44,080人日
		その他		593,878人日	598,347人日	602,815人日	589,873人日	580,760人日
		合計		638,953人日	643,761人日	648,569人日	634,644人日	624,840人日
実績	延べ利用者数	一時預かり事業（幼稚園Ⅰ型）	76,471人日	108,135人日				
		その他	525,207人日	426,517人日				
		合計	601,678人日	534,652人日				
	供給可能量（確保実績）	一時預かり事業（幼稚園Ⅰ型）	76,471人日	108,135人日				
		その他	525,207人日	426,517人日				
		合計	601,678人日	534,652人日				
	（参考）実施園数		幼稚園： 79園 認定こども園： 23園	幼稚園： 74園 認定こども園： 31園				

※幼稚園Ⅰ型・・・新制度に移行した幼稚園および認定こども園における一時預かり
 その他・・・新制度に移行していない幼稚園における一時預かり

・新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休園や預かり保育の利用自粛により、前年度に比べて延べ利用者数は減少した。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

⑦一時預かり事業(その他) (区域:行政区)

事業内容	家庭において一時的に保育を受けることが困難になった乳幼児について、保育所等で一時的に預かり、必要な保護を行う事業
実施状況	市内50か所の保育所で、一時預かり・継続的利用保育サービス事業として実施し、のびすくも該当。また、平成27年度より認定こども園や地域型保育事業も該当。
実施主体	のびすく、保育所、認定こども園、地域型保育事業

○計画と実績

単位:延べ人数(人日)

年度(当初)		R2年度当初(参考)	R3年度当初	R4年度当初	R5年度当初	R6年度当初	R7年度当初
事業計画	量の見込み		71,223人日	68,794人日	66,746人日	65,449人日	64,461人日
	(内訳)		8,894人日	8,960人日	9,026人日	8,849人日	8,714人日
	のびすく		35,853人日	31,755人日	28,176人日	27,629人日	27,213人日
	保育所		4,681人日	5,125人日	5,527人日	5,420人日	5,338人日
	認定こども園		21,795人日	22,954人日	24,017人日	23,551人日	23,196人日
	地域型保育		71,223人日	68,794人日	66,746人日	65,449人日	64,461人日
実績	確保方策						
	延べ利用者数	68,846人日	52,520人日				
	(内訳)						
	のびすく	7,947人日	4,613人日				
	保育所	34,757人日	21,413人日				
	認定こども園	9,396人日	10,792人日				
	地域型保育	16,746人日	15,702人日				
	供給可能数(確保実績)	68,846人日	52,520人日				
	(内訳)						
	のびすく	7,947人日	4,613人日				
	保育所	34,757人日	21,413人日				
	認定こども園	9,396人日	10,792人日				
	地域型保育	16,746人日	15,702人日				
(参考)実施か所数		110か所	108か所				
	(内訳)						
	のびすく	5か所	5か所				
	保育所	50か所	45か所				
	認定こども園	9か所	12か所				
	地域型保育	46か所	46か所				

○のびすく

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、臨時休館した期間があったほか、密状態を避けるため、利用人数に制限を設けるなど事業規模を縮小して運営したことにより、利用者数が減少した。

○保育所等

- ・新型コロナウイルス感染症等の影響により、前年度と比較し延べ利用者数が全体的に減少した。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

⑧病児保育事業(区域:行政区)

事業内容	病気の児童について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において、看護師等が一時的に保育等を行う事業。
実施状況	市内全区6か所(青葉区2, 宮城野区1, 若林1, 太白1, 泉1)
実施主体	診療所及び保育所の設置者

○計画と実績

単位:延べ人数(人日)

年度(当初)		R2年度 当初(参考)	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初
事業計画	量の見込み		2,492人日	2,530人日	2,569人日	2,530人日	2,481人日
	確保方策		2,492人日	2,530人日	2,569人日	2,530人日	2,481人日
	(実施か所数)		6か所	6か所	6か所	6か所	6か所
実績	延べ利用者数	2,155人日	674人日				
	供給可能量 (確保実績)	2,155人日	674人日				
	(実施か所数)	6か所	6か所				
	(備考) 利用実人数	1,545人	460人				

- ・利用者数は、前年度比で大幅に減少したものの、利用希望者に対しては病児保育を提供することができた。
- ・利用者数減少の要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響による利用控えや、在宅ワークが進んだことで自宅での保育が可能になったこと等が考えられる。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

⑨妊婦健康診査(区域:行政区)

事業内容	妊婦の健康の保持及び増進を図るため、妊婦に対する健康診査として、①健康状態の把握、②検査計測、③保健指導を実施するとともに、妊娠期間中の適時に必要に応じた医学的検査を実施する事業。
実施状況	妊娠の届出のあった者に妊婦一般健康診査助成券を交付し、14回まで助成。
実施主体	県内指定医療機関

○計画と実績

単位:対象人数/受診件数

年度(当初)		R2年度 当初(参考)	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初
事業 計画	量の見込み		8,142人 ／95,261件	8,007人 ／93,682件	7,888人 ／92,290件	7,790人 ／91,143件	7,710人 ／90,207件
	確保方策		実施場所: 登録医療機関88 助産院3(委託)	実施場所: 登録医療機関88 助産院3(委託)	実施場所: 登録医療機関88 助産院3(委託)	実施場所: 登録医療機関88 助産院3(委託)	実施場所: 登録医療機関88 助産院3(委託)
実績	実利用者数 ／延べ受診件数	8,300人 ／95,368件	7,843人 ／91,398件				
	供給可能量 (確保実績)	8,300人	7,843人				
	実施機関	実施場所: 登録医療機関88 助産院3(委託)	実施場所: 登録医療機関84 助産院3(委託)				

・見込みよりも妊娠届出数が減少したことにより、妊婦健康診査の受診実績も少なかった。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

⑩子育て短期支援事業(区域:全市)

事業内容	小学校修了前の児童を養育している保護者が疾病等によりその養育が一時的に困難となった場合に、一定期間施設で児童を保護・養育する事業。
実施状況	子育て支援ショートステイ事業として実施。青葉区、宮城野区、太白区に実施施設あり。
実施主体	児童養護施設(4施設)、乳児院(2施設)

○計画と実績

単位:延べ人数(人日)

年度(当初)		R2年度 当初(参考)	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初
事業計画	量の見込み		362人日	357人日	351人日	346人日	339人日
	確保方策		362人日	357人日	351人日	346人日	339人日
	実施か所数		児童養護施設:4 乳児院:2	児童養護施設:4 乳児院:2	児童養護施設:4 乳児院:2	児童養護施設:4 乳児院:2	児童養護施設:4 乳児院:2
実績	延べ利用者数	258人日	162人日				
	供給可能量 (確保実績)	258人日	162人日				
	実施か所数	児童養護施設:4 乳児院:2	児童養護施設:4 乳児院:2				

- ・利用者数は、昨年度比で大幅な減少となった。
- ・利用者数減少の要因としては、新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者の入院や出張等を理由とした利用が減ったこと等が考えられる。

4. 地域子ども・子育て支援事業の推計と実績について

⑪子育て援助活動支援事業(区域:全市)

事業内容	乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の労働者や主婦等を会員として、児童の預かり等の援助を希望する者(利用会員)と当該援助を行うことを希望する者(協力会員)との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。
実施状況	仙台すくすくサポート事業として実施。仙台市全域を実施区域として、仙台すくすくサポート事務局が会員登録や仲介を行っている。
実施主体	市内在住の利用会員と協力会員、両方会員

○計画と実績

単位:延べ人数(人日)

年度(年度)		R2年度 当初(参考)	R3年度 当初	R4年度 当初	R5年度 当初	R6年度 当初	R7年度 当初
事業 計画	量の見込み		10,739人日	10,739人日	10,739人日	10,575人日	10,371人日
	確保方策		10,739人日	10,739人日	10,739人日	10,575人日	10,371人日
実績	延べ利用者数	10,580人日	9,197人日				
	供給可能量 (確保実績)	10,580人日	9,197人日				
	(備考)会員数	利用会員:3,008人 協力会員:456人 両方会員:121人	利用会員:2,863人 協力会員:450人 両方会員:117人				

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、援助活動回数が前年度よりもやや減少した。
- ・密にならない事業の特性を生かし、感染症拡大期間中も衛生面での対策を取りながら概ね通常通りの運営ができた。